
僕の愉快痛快まれに不快な日常

高山直

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の愉快痛快まれに不快な日常

【Nコード】

N7790Y

【作者名】

高山直

【あらすじ】

東京世田谷区のとあるアパート。

リストラされた元リーマン。超絶寒がりのフリーター。八方美人の家出少女。三児の母で病弱な小説家。性別不明の似非中国人……そんな彼らが織りなす、愉快痛快な日常。……に、なる予定。

ある日のある場面（前書き）

ゆったりまったり更新。

ある日のある場面

―― 102号室 ――

やあやあ皆さんこんにちは。

僕は極々普通のサラリーマン。だっただけどリストラされて今は無職の何処にでもいるオッサンです。

失業手当で生活しながら某大手職業斡旋所に通う毎日を過ごしています。

が、このご時世、なかなか仕事が見つかりません。そろそろ見つけないと本格的にヤバイのですが。

…はっはっは。

笑っつけ。

はっはっは。

―― 103号室 ――

「あゆちゃん、お隣から不気味な笑い声が」

「いつもの事だよー。気にしないでOKだよー」

「しーちゃん、また駄目だったのかしら」

「だろうねー。それ以外考えられないしねー」

「しーちゃん、鬱にならないかしら」

「さーねー。とりあえず刃物は隠した方がいいかもねー」

「飛躍しすぎだわ、あゆちゃん」

―― 201号室 ――

ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶ〜ぶひぶひ×2

「…ゆ、ゆめちゃん……、りこちゃん…知らない…?」
「おねえちゃんは、あゆちゃんのところだよ」
あくをくたおすくぼくらのくヒーロく
「…じゃあ…ゆめちゃん…お姉ちゃんを呼んできてくれる…?」
「はい。ゆめちゃん、おねえちゃんを、よんできます。……っ
あ
ゆけくゆけくけくブルーちゃんマン!
「あーあーあー!」
「きーくん、よいこはテレビからはなれてみるんだよ」
「あー…」

—— 202号室 ——

「陳さん。前から気になつてたんすけど、ブルーちゃんマンって何ス
か?」
「何でアタシに聞くアルよ。きークンに聞けばいいネ」
「生後8ヶ月の赤ん坊に何を聞けど」
「そも、今更何でそんな事聞くヨ」
「今だからっスよ!基本隣の部屋から聞こえる音ってブルーちゃんマ
ンのOPなんスよ!」
「つつしー最低アル。笹岡サンとこの生活盗み聞き」
「なわけないっしょ!このアパート壁薄いから仕方ないじゃないっ
スか!」
「いやーん変態アタシ襲われちゃうアル」
「本気でキモいんで止めて下さい…!」

—— 204号室 ——

「浜田、ワリイ。灯油ねえか灯油!」
「……………」

「でも悟くんは例外」

「っ美智子ちゃんっ!!」

東京世田谷区のとあるアパート。

これはそこに住む彼らの、何気ない日常の一幕を描いたゆるい物語である。

初めまして、**管理人さん**（前書き）

登場人物紹介を会話文だけで頑張ってみようと思う、まる

初めまして、管理人さん

「…え？へえ、玄さん、ぎっくり腰なんですか。で、お孫さんの貴方が臨時で管理人を…。最近の若者は偉いですねえ…。あ、僕？102号室の住人です。よろしくお願いします。……………それにしても玄さんがぎっくり腰、ねえ……………、…本当にそうなんですか？正直いい歳して酒呑みまくって繁華街でお姉さんひっかけて遊び呆ける生活送つてたせいで持病の癩だか何だかが悪化したとしか…あ、そんな。困りますよねえ実はそうなんですうんうんって顔されたら僕引くに引けないじゃないですか。流すところですよ、そこは。……………仕事？え、僕の？はっはっは、それ聞いちゃいます？いやー、実は先日クビになりました……………世知辛い世の中ですよねえ……………あ」

「あん？しーちゃん誰そいつ」

「新しい管理人さん。玄さんのお孫さんだつて。……………紹介しますね。こちら、101号室の岡野さんです」

「どうも」

「えー、彼「しーちゃん」…何ですか」

「俺寒いから部屋戻るわ」

「あー、はいはいどうぞ。……………あ、驚きました？ですよねえ、今日はちよつと暑いくらいですもんね…。岡野さん、極度の寒がりなんですよ。Tシャツ、ジーンズ、半纏がいつものスタイルで。八月くらいですよ、半纏脱ぐの。ええつとですな…フリーターで、趣味

は麻雀。あ、長髪パツキン三連ピアスって、かなりチャラくて怖い外見してますけどいい人ですよ。常に眠そうですが……て、はい？え、パツキンって今時の若者は使わないんですか。え、そんな……」

「………………。僕、思うんですけど、岡野さんって、後ろの中程で結んであるあの髪、下ろすと女性に見間違えられるんじゃないでしょうか。岡野さん、かなり女顔ですし……あ、これ本人には言わないで下さいよ。僕まだ死にたくないです……………え、そんなことよりパツキン？話の逸らし方下手？やだなあ何をおっしゃるんです。最初の三点リーダー12文字だったただただ岡野さんの顔について考えていただけですよ。だけですってば。……………ちょっと、何ですか、こいつ面倒くせえって気持ちが悪くヒシヒシと伝わってくるんですが。貴方顔に出すぎですよ」

「あー、うん、これも何かの縁でしょう。この調子で僕、アパートの皆さん紹介しましょうか。いやいや、そんなお礼なんて気にしないで下さい。仕事紹介して下さいね」

「……ん？ああ、良いところに。あそこ見て下さい、そう、あの中学生の二人組。黒髪ショートの子が103号室のあゆちゃんです。家出してきたそうですよ。いやー、今時の中学生って行動力ありますよねえ。……………警察に連絡？はっはっは、何をおっしゃるんです、困った時にすぐ国家権力に頼るのは良くないですよ。……………え、大人の義務？はっはっは。何ですか義務って。生まれてこの方聞いたことのない単語ですね。……………あ、ちょっと何ですか、クビにされた理由分かるかもって。教えて下さい。ええ？言っても多分分からない？なかなか口の悪い方ですね……」

「まあいいです。で、もう一人の女の子、茶髪天パの子は、201号室のりこちゃんです。いやー涼やかな目元の美少女ですよ、彼

女。ああ、りこちゃんは家出じゃないですよ、家族の皆さんと住んでいます。佐々岡さん…あ、りこちゃんのお母さんは、小説家なんですよ。りこちゃんは三人姉弟で、下にゆめちゃんときー君って子供がいるんです。仲の良い姉弟ですよ。勿論、りこちゃんとおゆちゃんも、とても仲がいいんです。親友っていうか、心友？いや、真友！？…あ、すみません、そうですね、聞いてるだけじゃ違い分かりませんよね、最後に限っては造語ですし…あ、いえいえこちらの話です」

「……………え、もう時間？そんな、紹介すべき人はまだまだ残ってるんですよ。ああ、分かりました、はい、仕方ないですね。では頑張って下さい。あ、そんな丁寧に挨拶しなくていいですって。仕事紹介して下さい。……………え、僕の名前…？あれ、言ってますでしたっけ。ええ、すみません。では改めまして、これからよろしくお願いたします。新しい管理人さん。」

「僕の名前は、後月しづめです」

初めまして、**管理人さん**（後書き）

挫折しました。

アパートの住人（前書き）

前話を受けて反省。下手なチャレンジ精神は身を滅ぼす。

アパートの住人

東京世田谷区のとあるアパート住人録

101号室

岡野 (20〜30歳?)

- ・フリーター
- ・金髪の長い髪をいつも後ろで1つに結っている
- ・通常スタイル：Vネックの黒いシャツに同色のジーンズ、上に半纏
- ・趣味：麻雀
- ・常に眠そうで極度の寒がり

102号室

後月 (秘密)

- ・只今仕事募集中

103号室

中川 あゆ (15歳)

- ・中学生
- ・家出少女
- ・黒髪ショートヘア、赤フレームの眼鏡
- ・学年2位の秀才

- ・特技：一分間瞬きをしない
- ・あだ名：八方美人

104号室

人形師さん (20～30歳?)

- ・職業：人形師

105号室

空き室

201号室

佐々岡 りこ (20～50歳?)

- ・朝起きて吐血昼仕事して吐血夜寝て吐血
- ・小説家。キャッチコピーは「エッセイからホラー、恋愛まで」
- ・代表作。『夫を操る100の方法』『世界残酷童話集』『必見！これで貴方も小金持ち』『愛と金』
- ・病弱な巻き毛の麗人

佐々岡 りこ (15歳)

- ・中学生
- ・茶髪(地毛)天パの美少女
- ・クールビューティーな苦労性
- ・街を歩けばスカウトに当たる

佐々岡 ゆめ (7歳)

- ・小学生
- ・おっとり系

佐々岡 きいと (8ヶ月)

- ・常に不満気
- ・コアなファンを持つ『ブーちゃんマン』がお気に入り
ブーちゃんマン
- …アンニュイな雰囲気豚が仕方なく地球を守るために戦う笑いあり涙ありのデンジャラスハイアクションストーリー
- 「だりいさつさと終わらせてFFやるぜ…」 決めゼリフ

佐々岡家は母子家庭。父は蒸発。

202号室

対馬 (26歳)

- ・爽やかなイケメンお兄さん
- ・建築会社勤務

203号室

久瀬 悟 (35歳)

- ・専業主夫
- ・美智子ちゃんラブ

久瀬 美智子 (35歳)

- ・バリバリのキャリアウーマン
- ・ほとんど家にいない

久瀬 けん (5歳)

- ・幼児
- ・双子の兄
- ・ママと蜜柑が好き

久瀬 あい (5歳)

- ・幼児
- ・双子の妹
- ・ママと林檎が好き

204号室

浜田 (20〜30歳?)

- ・引きこもり

205号室

陳 凛々(自称29歳)

- ・似非中国人
- ・性別不明(でも多分男…多分)
- ・正体不明

・胡散臭い

管理人室

玄（85歳）

・現在入院中

・色々元気

新管理人さん（20〜25歳）

・大学生

アパートの住人（後書き）

しーちゃん曰く。

モール宮森：？

——アパート前——

「しーちゃん麻雀やるぞー！麻雀麻雀………ってどうしたよ」

「岡野さん、僕もう駄目かもしれない。はは、人生って儂いよね」

「あー、また落ちた？別に大丈夫だろ、次があるって」

「もう後がないんですよ。次なんてないんですよ。今回は『え？も
しかして受かるんじゃない？』って希望持つくらいには良いところま
でいったのに……！」

「同じ様なこと二週間前にも言ってたろ。ダイジョーブダイジョー
ブ何とかなるさ多分きつと」

「岡野さん、僕は真剣に悩んでるんです！」

「俺も真剣に答えてるよ」

「ふっ。本庄さんを知っている僕からすれば、岡野さんの真剣さは
ふざけているという言葉ですらおこがましい」

「言ってることよくわかんねーよ。あと本庄さんて誰」

「ハローワークの店長さん」

「知らねえよ！」

——宮森西中学校 3 - 1——

「りこちゃん、帰りにー、モール宮森行かないー？」

「ああ、最近出来たショッピングモール？OK。あ、でも私日直だ
からちよつと待ってて」

「はいはい。じゃー、先下で待ってるねー。ガンバー」

「そこで『私も手伝うよー』とはならないのかしら、マイフレンド」

「ならないのだよー、マイフレンド」

「あゆちゃんの八方美人は私にだけは発揮されないのね」
「発揮されないのだよー」

——宮森保育園 うめ組——

「あきせんせい！きょうはママがむかえにくるんだよ！」

「あきせんせい！きょうはママがむかえにくるんだよ！」

「良かったね〜。ママと会ったの、何日ぶり？」

「えっとねー。パパが、ろくじゅうごにちぶりっていったよ！」

「えっとねー。パパが、ろくじゅうごにちぶりっていったよ！」

「そうなの〜。けん君もあいちゃんも、ママにあんまり会えなくても、いい子にして偉いねえ〜」

「えらいのー！」

「えらいのー！」

「パパが、頑張ってくれてるのかな〜？」

「えっとねー、パパはねー、ママなのー」

「えっとねー、パパはねー、ママなのー」

「……………先生分かんないな〜。もっと詳しく教えて欲しいな〜」

「あのね、パパはね、ごはんつくったり、おそうじしたり、みゆちやんやつよしくんのママがやってることやっってくれるのー」

「あのね、パパはね、ごはんつくったり、おそうじしたり、さっちゃんやちかくんのママがやってることやっってくれるのー」

「わ〜、パパ凄〜い。先生驚いちゃった。パパ、とっても頑張ってくれてるね〜」

「そうなのー？」

「そうなのー？」

「そうだよ〜、パパ、けん君とあいちゃん為に、とっても頑張ってくれてるんだよ〜」

「ちがうもん、ママのためだよ」

「ちがうもん、ママのためだよ」

「……………そんなことないよ」
「だって、パパ、『みちこ！あいしてる！きみのためなら、なんだってしゆるからね！』っていったもん」
「だって、パパ、『みちこ！あいしてる！きみのためなら、なんだってしゆるからね！』っていったもん」
「……………パパ、ママのこと大好きなんだね」
「ちがうもん、『だいしゆきなんじゃない！ねちゆれちゆにあいしてるんだ！』っていったもん」
「ちがうもん、『だいしゆきなんじゃない！ねちゆれちゆにあいしてるんだ！』っていったもん」
「……………今日っ、ママが迎えに来た後、何処かに遊びに行くのかな？」
「うんっ！もーるみやもりにいくんだよ！」
「うんっ！もーるみやもりにいくんだよ！」
「へえ、いくな。家族四人でお出かけか」
「うん。パパはお留守番なの」
「うん。パパはお留守番なの」
「……………」
「あきせんせー？」
「あきせんせー？」
「あきせんせー？」

——アパート前——

「……………ところで岡野さん、今日23 ですけど、半纏着なきゃいけない寒さですか？」
「おう。すっげー、寒い。ありえねーよこの寒さ。地球温暖化は絶対嘘だと俺は断言する」
「年がら年中寒いって言ってますもんね」
「南国に生まれたかった」
「……………パイナップル……………食べますか……………」

「え？」

「は？」

「…マンガも…ありますけど………」

「あ、こんにちは、佐々岡さん」

「どうも、佐々岡さん」

「………こんにちは………相変わらず………仲がよろしいですね………お二人は………」

「そうですね？麻雀仲間兼隣人の知り合い以上友達未満の関係ではありますが」

「しーちゃんヒデエ」

「………失業者とフリーター………相通じるものが………ある………のかしら………」

「さらっと失礼ですね」

「俺、しーちゃんが普通に働いてた頃から仲良かっただろ」

「………そうね………次回作はそれで………いきましよう………お互いの傷を………舐めあう………失業者と………フリーターの関係………失業者が誘い受けて………フリーターが………俺様DS攻め………いいわ………萌え………もとい、燃えてきたわ………」

「スイッチ入っちゃいましたね。小説家のお仕事って、やっぱり大変なんでしょうか」

「今明らかに俺等が元ネタでBL構想だったけどな」

「肖像料とれますかね」

「………よっぼどせっぱ詰まってるんだな、しーちゃん………」

—— 宮森西中学校 廊下 ——

「お待たせしました」

「待たされましたー」

「………私、時々あゆちゃんが八方美人って信じられなくなるわ」

「だからー、りこちゃんは特別ー。アパートの皆もー。………あ、

あれは数学の吉田ー」

「お。中川。今回も学年二位か。お前なら一位も狙えるぞ。先生も応援してるからな」

「はい、ありがとうございます。吉田先生の授業、とても分かり易くて、好きです。期待に応えられるよう頑張ります！」

「うんうん、その意気だ。佐々岡も見習えよー」

「……………はい」

——アパート前——

「後月さん……………これ……………どうぞ……………」

「？何ですか、これ……………って、え」

「…モール宮森の…駐車場…整備員の……………求人…用紙です…」

「い、良いんですか？」

「…私…いいませんし……………お仕事…探されてるんでしょう……………？」

「ありがとうございます！今度佐々岡さんの新刊買います」

「え、このままいくと俺等のB.Lだぞ」

「…違います……………今…一番新しい…のは…『南国事件簿』パイナップル殺人事件。と、みせかけたマンガー殺人事件』……………です……………」

「……………へえ」

「あ、僕今からモール宮森行って来ます」

「……………いつてらっしやい……………」

「あー、じゃ、俺もそろそろバイト」

「……………いつてらっしやい……………」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7790y/>

僕の愉快痛快まれに不快な日常

2011年12月11日17時50分発行